

(公財)福岡県国際交流センターの最新の移住事業をお伝えします

第10回海外福岡県人会世界大会を開催 ルーツは福岡 夢は世界へ ~集う我ら 広がる絆~



【歓迎レセプション (11/6)】

1月6日から9日までの4日間、第10回海外福岡県人会世界大会を6年ぶりに母県・福岡で開催しました。今回、北米、南米、アジア、欧州の21か国・地域29県人会から約350名の方々が参加され、過去最高の参加者数となりました。

大会中に実施された「合同会議」では、県人会活性化に向けた取り組みや、今後の福岡県との交流事業の在り方について意見交換が行われました。「県内視察」「ふるさと巡り(県内4地区)」では、県人会会員の皆様が故郷の地を懐かしむとともに、各地の

県民の方々と交流を図りました。また、「海外福岡県人会フェア」を実施し、多くの県民の方々にも海外県人会の存在を広く知っていただく機会となりました。

最終日の「さよならパーティー」では『福岡宣言』が発表され、今後、母県及び海外県人会の青少年育成に取り組んでいくことや、更なるネットワーク強化を誓うとともに、次回の世界大会を2022年にペルーで開催することが決定しました。最後は別れを惜しみながらも、参加者みんなで炭坑節を踊るとともに“ふるさと”を大合唱し、盛大に盛り上がりつつ、大会の幕を閉じました。



【記念式典 (11/6)】



【合同会議 (11/7)】



【県内視察・岡垣町 (11/7)】



【ふるさと巡り(筑豊コース) (11/8)】



【海外福岡県人会フェア (11/9)】



【『福岡宣言』発表 (11/9)】



【さよならパーティー (11/9)】

福岡県移住者子弟留学生制度50周年記念イベントを開催

昭和41年から開始された福岡県移住者子弟留学生制度が、50周年を迎えたことから、第10回海外福岡県人会世界大会期間中である11月7日(木)に、記念式典並びに記念懇親会を開催し、53名の留学生OBを含めて、125名の方々にご参加いただきました。

式典では、留学生OB3名が報告を行うとともに、福岡県が本事業を継続してくれていることへの感謝を述べました。また記念懇親会では、参加者の皆様は、会場内に展示した留学生OB写真を見たり、懐かしい顔ぶれを見つけては、話に花を咲かせていました。



【記念撮影】

福岡県移住者子弟留学生が日本文化を体験

11月16日(土)、福岡市内にある大濠公園日本庭園の茶室・茶会館で福岡県海外移住家族会が主催する留学生着物着付け・茶道体験が行われました。

着物姿の留学生たちは、お茶のお点前を参加者の皆様に披露するだけでなく、美しい所作、心得や作法を一から教えて頂くことによって、思いやりや感謝の心を大切にする茶道という哲学に触れました。当日は、天候にも恵まれ、秋晴れの日本庭園を散策し、大変、有意義な時間を過ごしました。



【日本庭園での記念撮影】